

事業所名

てらびあぼけつと三鷹下連雀教室

支援プログラム

作成日

2024年

8月

3日

法人（事業所）理念		数年先のお子さまの成長した姿、それをご家族様の喜びに繋がられる支援の提供を。		
支援方針		就学後の人生（学校生活）を見据えて、さまざまな経験を持つスタッフ、関係者の協力も得ながら、必要なスキルを身に付けていく。		
営業時間		10:00～17:00（ただし12:00～13:00を除く）	送迎実施の有無	あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 入室時に手洗いやうがいを促す。それらを自身で取り組むことが出来るよう、まずはスタッフと一緒に実践しながら、自発的な行動に繋がられるよう目指していく。 靴の脱ぎ履き、所定の場所に荷物を片付ける、衣類の着脱等、自身でできることを目指した支援を行う。 体調面に不安がある時は、自身で自信をもってヘルプを出すことができるように、言語、SST等の課題に取り組む。 お子さまの心身の健康を保つこと、また、虐待防止の観点からも、スタッフ一人一人が言動を振り返り、併せて他者への気付きも指摘し合いながら支援を行う。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 着席時間の継続、姿勢維持に必要な体幹強化を目指し、サーキットやリズムウォーク（音楽に合わせて指示の受容、模倣動作に関する活動）を行う。 集団生活を見据え、全体指示や複数指示を聞く（受容する）ことができるように、小集団活動の中での課題設定を行う。 視覚からの情報、聴覚からの情報を正しく処理し、行動に移すことが出来るようになることを目指し、その情報を細分化しながら達成具合を分析していく。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 他者から言われたことを行動に移すことができることを目指し、受容プログラムを行う。 五感で物事を捉え、表出することができるよう、ビジョントレーニング、リスニング、スピーキングの練習を行う。また、その相互性、そして他者とのやり取りの中で実践することができるような場面を設定する。 個別療育にてSSTの課題を取り入れ、決まりやルールのイメージが出来上がるようにする。 		
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 語彙数を増やすことからスタートし、二語文～三語文へと繋がられるようにする。 他児との交流の中で、会話のコミュニケーションを練習していく。 入室、退室時の挨拶の声掛けを意識できるようにする。 		
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 通所開始後は、スタッフとの関係作りからスタートし、安心して通所することのできる場所として認識できるようにする。 他児との交流の機会を設け、道具の貸し借り、活動を共有することで、かかわり方を身に付けられるようにする。 個別療育で学んだスキルを実生活の場で生かすことができるように場面設定を行う。 ルールのあるゲームや活動を取り入れ、順番を待つ、他者と協力して1つのものを作り上げるという気持ちを育てる。 		
家族支援	日々の療育内容、支援方法を共有することで、家庭での取り組みに繋げる。必要に応じて、教材の提供や支援方法のアドバイス等行う。	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 小学校教員をお招きし、療育プログラムの提案・企画・構成を行い、就学後に備える。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育園等、お子さまにかかわる方との情報共有、支援方法の共有を行う。 他施設との情報共有、施設見学の機会の設定を行う。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な（月1～2回目安）社内研修の実施。必要に応じて、外部研修への参加の機会を設定する。 スキルアップ、キャリアアップのための資格取得制度の導入。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 室内スポーツやゲーム大会の開催、他施設のお子さまとの交流会、外部講師をお招きした活動等。 		



インスタやYouTubeで施設の様子を発信中。詳細はそちらを参照にしてみてくださいね♪